

更年期障害と医療保険

更年期を見据えた 保険の選び方

医療費が高額なアメリカでは、更年期治療をはじめ、さまざまな医療サービスを賢く受けるために医療保険選びが重要です。医療保険、生命保険、リタイアメントプランなどを扱うUNI Worldwide Financial Marketingの竹本のり子さんに、アメリカの保険、とりわけ更年期障害治療、婦人科に関する点について教えてもらいました。

「**保険には、かかりつけ医を決めてその主治医を通して治療を行う（専門医にかかる際に紹介状が必要となる）HMOと、その必要のないPPOの2種類があります。**しかし専門医とみなされるものの、婦人科はHMOでも主治医の紹介なしに直接かれます。ただし専門医ですと婦人科にかかる際には、それぞれの健康保険プランが定める『Special Doctor Visit Fee』を払います」。

ネットワーク外の医師にかかった場合にはカバー率が低かったり、カバーされなかった

更年期障害に関連した英単語

閉経・更年期	Menopause
更年期障害	Climacteric disturbance
ほてり	Hot flashes
イライラ	Irritability
不正出血	Metrorrhagia/Unusual bleeding
生理不順	Menstrual irregularity
性交痛	Dyspareunia/Coital pain
ホルモン補充療法	Hormone replacement therapy
甲状腺疾患	Thyroid disease

りすることがあるので、保険会社に確認してから訪れてください。保険会社のウェブサイトで該当する医師を検索できます。

「とはいえ、更年期障害だと思ってもほかの病気の可能性もありますし、更年期障害でも婦人科での治療だけでなく、例えば心理カウンセリングが必要な場合もあるので、まず主治医に相談されるのがよいと思います。心理カウンセリングも保険の適用対象です。日本語のカウンセラーにかかりたいという場合は、保険の切り替えの際に、保険会社のネットワーク内に日本語のカウンセラーがいるかどうかを問い合わせるのもいいかもしれません」。

更年期障害の症状を緩和するために、マッサージや指圧、鍼治療を受けたいと思う人もいるかもしれませんが、残念ながらマッサージや指圧は保険適用外ですが、PPOプランの一部には鍼や漢方薬をカバーするものもあります。また、医師によってその保険を受け付けるか否かも異なります。

「更年期症状が重く、来年は何度も病院や鍼に行くことが分かっている人は、切り替え時にそうした治療をカバーする保険やより良い保険に入るなどで、トータルでの医療費を減らせる可能性もあります」。

年に一度の チェックアップ

このほか、女性の健康に関しては、予防のためのさまざまな医療サービス（Preventive Health

Service) などの医療保険プランに加入していてもカバーされて、自己負担はありません。男女ともに年に一度のチェックアップがカバーされるのに加えて、更年期からより発症率が高まる乳がんについては、40歳74歳の人はマンモグラムが1〜2年に1回カバーされます。

また、子宮がん組織検査(Cervical Smear)も30〜65歳の場合は、3年に1度、子宮頸がんを引き起こすウイルスHPVの検査は5年に1度カバーされます。

「こうした健診・検診を定期的に行うことで、更年期障害の症状に早く気付くこともできますし、より深刻な病気も早期発見できます。自分は健康だと思っ

「**今一度、チェックアップをして、今の自分の体の状態を知ること、生活習慣を見直す良いきっかけが生まれます。車にもオイルチェンジャーやメンテナンスが必要なように、私たちの体にもメンテナンスが必要です。年に一度のチェックアップはどの保険でもカバーの対象内ですから、ぜひ出掛けてください。**」



【取材協力】

竹本のり子さん Lic#: 0F07269
トータルファイナンシャルサービスの「UNI Worldwide Financial Marketing」アドバイザー。
www.uni-insurance.com
☎ 310-782-0808
20725 S. Western Ave.
Suite 120, Torrance, CA 90501